

進路学習だより

Break-through

打破！

ブレイクスルー

第4号

令和元年6月28日(金)

小笠原中学校

進路学習部

◆適切な反省と行動でさらなる学力向上を ～1学期期末考査を終えて～

1学期期末考査が終わりました。採点の結果も返却され、努力の成果が実った人、思ったような結果が出なかった人と様々だと思います。定期考査は事前の学習や当日の取組もちろん重要ですが、終了後に適切な反省をし、その反省をもとに行動を起こすことも、とても大切です。そこで、学校全体として、今回の期末考査への取組について分析をしました。これを参考に今後の学習の在り方、特に2学期中間考査に向けての学習の仕方を考えてみて下さい。

○学習時間

	1年生	2年生	3年生	全体
平日	107.1	146.0	167.0	139.0
休日	144.6	183.6	215.6	180.7

(分)

上の表は、今回の期末考査の学習計画表から、みなさんの申告のあった学習時間をもとに、学年別、平日・休日の別で算出した1日あたりの平均学習時間です。これを見てみると、**学年が上がるにつれて学習時間が増加**していることが分かります。学年が上がれば内容も深くなり、学習に費やさなければならぬ時間も増えてくるのは当然でしょう。上級生は、そういったことも意識しながら学習に取り組めたのだと思います。

また、4月の2週間学習プログラムの結果から明らかになった、休日の学習時間の充実という課題も、今回は改善が見られました。**休日には、どの学年とも平日に比べて35分から50分程度長い学習時間を確保**できていました。学校に登校しない、自分で自由に使える時間が多くある休日の時間の使い方も上手にできたといえるでしょう。

(裏面につづきます)

◆よくがんばりました 定期考査前小テスト満点のみなさん (敬称略)

【国語】

1年：

2年：

3年：

【数学】

1年：

2年：

3年：

【英語】

1年：

2年：

3年：

○得点

【1年生】

	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技術	家庭
目標	72.5	72.6	71.3	70.2	69.2	71.1	74.4	73.7	34.8	36.5
結果	68.8	68.0	67.1	70.8	60.0	65.7	68.3	61.8	14.4	29.0
差	▲3.7	▲4.6	▲4.2	0.6	▲9.2	▲5.4	▲6.1	▲11.9	▲20.4	▲7.5

【2年生】

	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技術	家庭
目標	76.2	74.5	72.5	69.1	69.0	76.2	77.9	76.6	35.7	32.7
結果	64.7	62.6	67.5	64.6	54.0	88.6	75.6	79.1	25.6	31.3
差	▲11.5	▲11.9	▲5.0	▲4.5	▲15.0	12.4	▲2.3	2.5	▲10.1	▲1.4

【3年生】

	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技術	家庭
目標	72.6	70.2	72.5	69.1	62.3	69.5	72.8	74.7	35.1	35.1
結果	65.7	75.2	62.5	58.2	60.6	85.5	79.3	84.7	35.4	37.7
差	▲6.9	5.0	▲10.0	▲10.9	▲1.7	16.0	6.5	10.0	0.3	2.6

上の表は、学習計画表で立てた各教科の目標点の平均と、結果の平均点、目標点の平均と実際の平均点の差を示したものです。表中の差の欄の▲は結果の平均点が目標点の平均を下回ったことを表しています。

これを見てみると、どの学年においても、**結果の平均点が目標点を下回っている教科が多い**ということが分かります。これには、原因が2つ考えられます。1つめは、**十分な学習ができなかった**、ということです。前に述べたように、学習時間については、多くの生徒が確保できたようですが、その時間を有効に使えていないということが考えられます。学習するポイントをしばって重点的に取り組む部分をつくったり、効率よく覚える工夫をしたりといったことが十分できたでしょうか。また、提出物を完成させることばかりに時間をとられ、試験のための学習に時間を費やせていないということはないでしょうか。試験前には点数をとるための学習をし、そのためには日ごろの授業で分からないところを残さずに取り組んでいくなどといった工夫も必要なのではないのでしょうか。

2つめは、**目標の設定が適切だったのか**、ということです。目標は、自分自身の意欲を高めるために設定するものです。そのためには、少しがんばれば実現できるものでなければ意味がありません。あまりにも自分自身の実態とかけ離れている目標を設定して、「どうせ自分には無理な目標だし」とあきらめてしまったら目標を設定する意味がないのです。逆に、簡単に達成できてしまうような目標だったらがんばろうという意欲が湧くこともなく、これもまた目標を設定する意味がありません。適切な目標を設定できるようになることで、よりよい結果を導くための努力がやりやすくなることもあるのです。

人間は、適切な反省をもとに行動を起こすことで成長していきます。試験前のあなたの取組について試験を終えたあとのあなたが思っていることは、あなた自身にしか分かりません。今日のテスト反省では、各教科の取組についてしっかりと反省し、すぐに改善できるところは、明日から改善し、学力向上に努めていきましょう。

